

米国 リンゴの在庫量は5カ年平均よりまだ29%多い

[The Packer 2024年4月10日](#)

米国リンゴ協会(USApple)が発表した4月のレポートでは、在庫量は前年4月よりも36%多く、4月の5カ年平均を29%上回っている。

現在の在庫量は6,800万ブッシェルで、12月1日のレポートで報告された1億2,440万ブッシェルから減少した。(米国リンゴ協会のレポートでは 1ブッシェル=42ポンド=約19kg)

USアップルトラッカー(同協会のデータベース)の4月のレポートでは、加工用リンゴの在庫量は2,600万ブッシェルと依然として高い水準を維持しており、前年同期より25%多く、4月の5カ年平均と比べて20%多い。

12月の米国リンゴ協会のレポートでは、加工用リンゴの在庫量は4,850万ブッシェルであった。

ワシントン州は、生食用と加工用のリンゴを合わせて(以下同じ)7,617万3,333ブッシェルの在庫があり、州別で最も多い。ニューヨーク州が727万550ブッシェルでこれに続き、ミシガン州は488万ブッシェルで3番目である。

在庫の上位品種は、ハニークリップ1,410万5,744ブッシェル(生鮮用及び加工用。以下同じ)、レッドデリシャス1,370万3,479ブッシェル、ガラ1,238万4,679ブッシェル、グラニースミス1,152万8,939ブッシェル等となっている。

執筆者: クリスティーナ・ヘリック

米国農務省が母親と子供のための果実・野菜支援を改訂

[The Packer 2024年4月10日](#)

トム・ビルサック農務長官は、農務省食品栄養局(FNS)が女性・乳幼児・子供(WIC)のための支援事業の参加者に給付される食品の見直しを終え、果実と野菜の給付を恒久的に拡大したと述べた。

農務省は、この科学に基づく改訂には、全米科学・工学・医学アカデミー(NASEM)及び「米国人のための食事ガイドライン2020~2025」の推奨事項が組み込まれているとしている。

FNSは、食品の品目内容を最新の栄養科学に整合させ、重要なライフステージにおける栄養価の高い食品への公平なアクセスを支援するため、2022年11月に制度の変更を提案した。同局によると、この変更の取り組みは、パブリックコメントを通じて受け取ったフィードバックを考慮して確定した。

同局はリリースで、「改訂された食品の品目内容は、果実や野菜に含まれる様々な主要栄養素への幅広いアクセスを提供する。最終的な変更は、より多くの果実や野菜を購入して試せるように現金価値給付(CVB)クーポンの金額を増やすことで、参加者がより多く食べることを奨励するものである。また、生鮮ハーブ類や包装サイズの大きい青果物など、参加者がCVBを通じて購入できる対象も拡大する」としている。

農務省のウェブサイトにあるWIC食品パッケージ給付金の表によると、毎月の現金価値給付の最大額は、子供は26ドル、授乳中の母親は52ドルである。

食品栄養局のシンディ・ロング氏はリリースで、「WIC事業に参加している660万人の母親と乳幼児、そしてさらに何百万人も参加資格のある人々にとって、当制度の対象となる食品の品目内容の改善は、健康と福祉に関して生涯にわたって良い影響を与える可能性がある」と述べている。

(以下、改訂を歓迎する関係団体のコメントを省略)

執筆者: トム・カースト